令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	局名	教育局
政策	基本的人権を尊重する社会の確立	課（室）名	人権教育課
施策	人権尊重意識の普及・高揚	電話番号	087-839-2640
基本事業	人権教育の推進	事業実施主体	市
事務事業	人権啓発活動事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	人権をテーマとした公演やパネル展、幼児・児童生徒、保護者等によるステージ発表などを内容とする人権啓発イベントを開催することにより、広く市民の人権意識の高揚を図る。
2年度概要	広く市民の人権意識の高揚を図るため、人権をテーマとした公演やパネル展、幼児・児童生徒、保護者等によるステージ発表などを内容とする人権啓発イベント（スマイルフェスティバルｉｎたかまつ）を開催する。

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	幼児・児童生徒及びその保護者を始め、広く市民の人権意識の高揚を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① プログラム等配布数	枚	19,925	20,000	45,000	20,000	20,000
②						

【事業の成果】

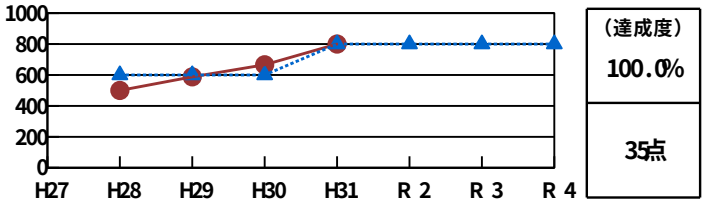
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
人権啓発イベント参加者数	人	目標値	600	600	800	800	800
		実績値	588	666	800		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

成果指標の目標を達成できている。

（目標達成度）

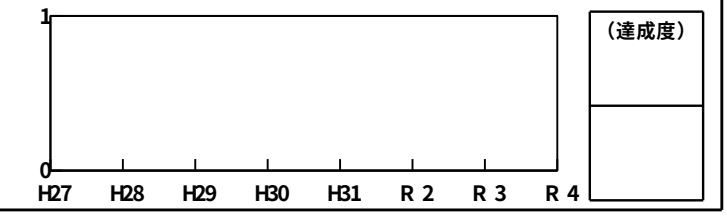


成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	4,254	4,174	4,024	4,020
(事業費)	[千円]	460	393	230	226
(職員人件費)	[千円]	3,794	3,781	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

イベントの参加者数については、目標を達成したものの時間帯によっては参加者数が少なくなる場面があった。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

イベントの開催時間全体を通して一定の参加者数を維持できるよう、プログラムの見直しなど内容の改善を図る。

令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	局名	教育局
政策	基本的人権を尊重する社会の確立	課（室）名	人権教育課
施策	人権尊重意識の普及・高揚	電話番号	087-839-2640
基本事業	人権教育の推進	事業実施主体	市
事務事業	文化交流推進事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域住民を対象に文化センター等主催で教養を高める各種講座（社会教育学級）や、ボランティア活動、三世代交流、地域交流行事など様々な体験・交流の機会を提供する教室（ふれあい教室）を開催することにより、地域住民の教育水準を向上し、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化を図るとともに自立意識の高揚及び社会的自覚の促進を図る。
2年度概要	地域住民を対象に文化センター等主催で教養を高める各種講座（社会教育学級）や、ボランティア活動、三世代交流、地域交流行事など様々な体験・交流の機会を提供する教室（ふれあい教室）を開催することにより、地域住民の教育水準を向上し、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化を図るとともに自立意識の高揚及び社会的自覚の促進を図る。

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	地域住民
意図（どのような状態にしたいか）	地域住民が、教養を高め、技能取得等一定の成果が認められるように各種講座に積極的に参加する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 社会教育学級実施回数	回	584	626	561	650	650
② ふれあい教室実施回数	回	51	84	78	90	90

【事業の成果】

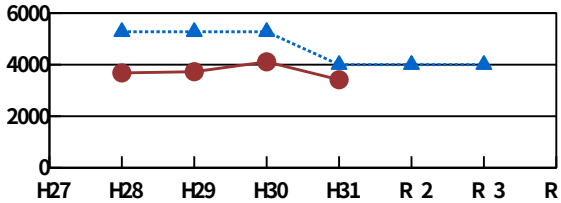
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
社会教育学級受講者数	人	目標値	5,277	5,277	4,000	4,000	4,000
		実績値	3,727	4,110	3,415		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、３月の開催ができなくなったこともあり、成果指標の達成度は８５．４％にとどまった。

（目標達成度）



（達成度）
85.4%
29点

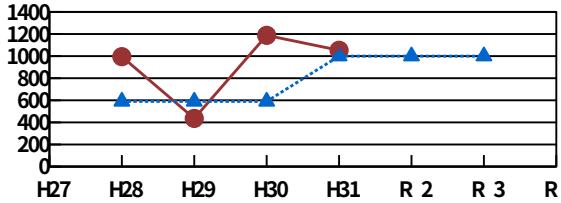
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
ふれあい教室受講者数	人	目標値	590	590	1,000	1,000	1,000
		実績値	436	1,188	1,053		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

成果指標の目標を上回る結果となった。

（目標達成度）



（達成度）
105.3%
35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	7,750	7,688	7,264	7,622
(事業費)	[千円]	3,956	3,907	3,470	3,828
(職員人件費)	[千円]	3,794	3,781	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

社会教育学級の受講者数については、一定数を確保できているものの、増加しているとはいえない状況にあることから引き続き受講者数の増加に向けた取組が必要である。
なお、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、３月の各種講座・教室は中止している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

文化センターを中心とした、各種講座、ボランティア活動、三世代交流、地域交流は、人権意識の普及・高揚には欠かせない場となっているため、事業は継続しつつ、新たな講座の模索や地域を超えての連携など、交流の輪を広げて行くことを検討する。

令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	局名	教育局
政策	基本的人権を尊重する社会の確立	課（室）名	人権教育課
施策	人権尊重意識の普及・高揚	電話番号	087-839-2640
基本事業	人権教育の推進	事業実施主体	市
事務事業	子ども教育推進事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	地区小・中学生を対象とした補充学習等の実施、地区小・中学生及びその保護者を対象の進路・進学等相談、大学生のボランティアによる学習支援の実施を行うことにより、地区小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上を図る。
2年度概要	地区小・中学生を対象とした補充学習等の実施、地区小・中学生及びその保護者を対象の進路・進学等相談、大学生のボランティアによる学習支援の実施を行うことにより、地区小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上を図る。

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	地区小・中学生
意図（どのような状態にしたいか）	地区小・中学生及び保護者が、子ども学級・教育相談・学習支援ボランティアに出席する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 子ども学級実施回数	回	593	492	464	550	550
② 教育相談実施回数	回	50	27	24	37	37

【事業の成果】

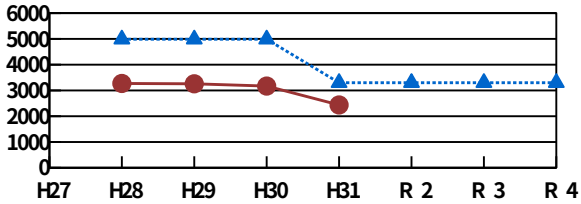
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
子ども学級出席者数	人	目標値	4,987	4,987	3,300	3,300	3,300
		実績値	3,258	3,170	2,437		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、３月の開催ができなくなったこともあり、成果指標の達成度は７３．８％にとどまった。

（目標達成度）



（達成度）
73.8%
25点

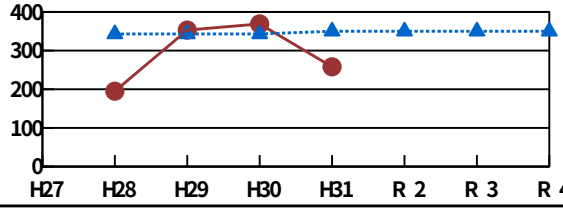
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
教育相談出席者数	人	目標値	343	343	350	350	350
		実績値	353	369	258		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、３月の開催がほぼできなくなったこともあり、成果指標の達成度は７３．７％にとどまった。

（目標達成度）



（達成度）
73.7%
25点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	10,316	10,326	9,585	10,432
（事業費）	[千円]	6,522	6,545	5,791	6,638
（職員人件費）	[千円]	3,794	3,781	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

子ども学級については、地区の小・中学生の補充学習の場として一定の成果は上がっているが、小・中学生徒数の減少に伴い出席者数の減少が続いている。また、保護者を対象とした進路・進学相談については、横這いの状況である。
なお、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、３月の補充学習等は原則として中止している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後においては、子ども達やその保護者のニーズを見極める中で、一人一人を大切に対応する事業としていきたい。

令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	局名	教育局
政策	基本的人権を尊重する社会の確立	課（室）名	人権教育課
施策	人権尊重意識の普及・高揚	電話番号	087-839-2640
基本事業	人権教育の推進	事業実施主体	市
事務事業	学校人権教育推進事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校に対し、人権教育指導資料の作成・発行、人権教育教員研修会の開催、人権教育研修会への参加費補助、人権教育資料の購入等を行うことにより、人権教育・啓発の推進を図る。
2年度概要	高松市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校に対し、人権教育指導資料の作成・発行、人権教育教員研修会の開催、人権教育研修会への参加費補助、人権教育資料の購入等を行い、人権教育・啓発の推進を図る。

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校
意図（どのような状態にしたいか）	高松市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校の人権教育・啓発の推進

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 研修会実施回数	回	6	6	6	5	5
②						

【事業の成果】

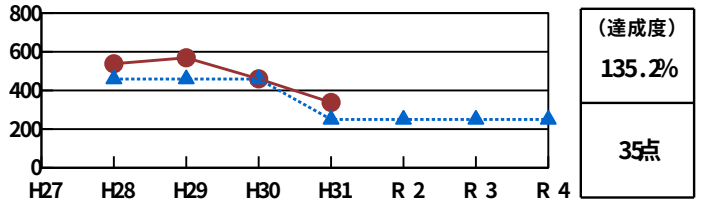
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
研修会等参加者人数	人	目標値	459	459	250	250	250
		実績値	569	460	338		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

成果指標の目標を上回る結果となった。

（目標達成度）

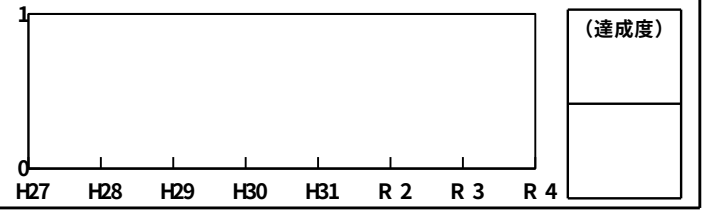


成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	18,744	18,308	19,138	19,065
（事業費）	[千円]	5,467	5,074	5,859	5,786
（職員人件費）	[千円]	13,277	13,234	13,279	13,279

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

順調に事業が実施されている。今後においても、人権教育・啓発の推進を図るための継続的な取組が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

人権教育・啓発の学びの場として、研修会等への参加者数は十分にあり、一定の成果が上がっている。今後は新たな差別（ＬＧＢＴ・ＳＮＳ上での差別発言等）に関しての研修内容も充実させていく必要がある。

令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	局名	教育局
政策	基本的人権を尊重する社会の確立	課（室）名	人権教育課
施策	人権尊重意識の普及・高揚	電話番号	087-839-2640
基本事業	人権教育の推進	事業実施主体	市
事務事業	社会教育指導員設置事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域における子どもの学習指導・生活指導の充実を図り、進路保障を実現するため、社会教育指導員を配置する。 また、社会教育指導員の派遣により人権教育市民講座等、人権課題解決のための各種研修の充実を図る。
2年度概要	地域における子どもの学習指導・生活指導の充実を図り、進路保障を実現するため、社会教育指導員を配置する。 また、社会教育指導員の派遣により人権教育市民講座等、人権課題解決のための各種研修の充実を図る。

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	地区小・中学生及び市民
意図（どのような状態にしたいか）	社会教育指導員による指導を受けることにより、地区小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上を図る。 また、人権課題解決のための各種研修の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 学習指導等実施時間	時間	2,624	2,360	2,489	2,500	2,500
②						

【事業の成果】

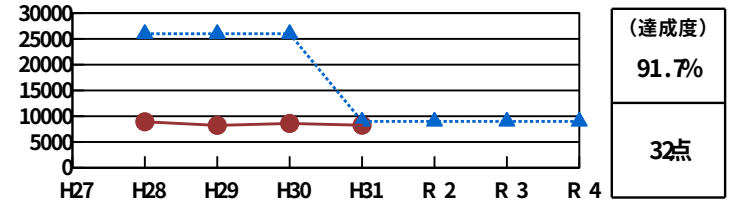
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
学習指導等出席者数	人	目標値	26,000	26,000	9,000	9,000	9,000
		実績値	8,225	8,598	8,255		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、３月の学習指導は原則としてできない状況となったが、成果指標の達成度は９１．７％と概ね目標を達成している。

（目標達成度）



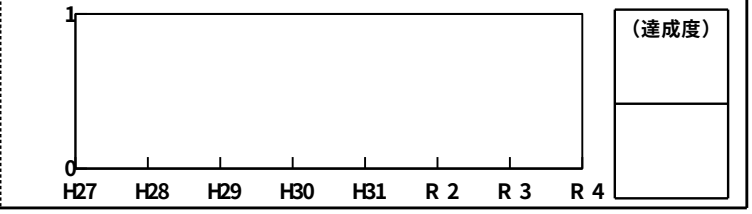
（達成度）
91.7%
32点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	20,622	20,706	19,205	20,926
(事業費)	[千円]	17,587	17,681	16,170	17,891
(職員人件費)	[千円]	3,035	3,025	3,035	3,035

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

学習指導等実施時間を目標どおり確保できており、学習指導等出席者数についても概ね目標を達成している。
なお、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、３月の学習指導は原則として中止している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

学習指導等については、現状を維持しつつ、子どもたちの実情に応じた指導等を図っていく。

令和　2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	局名	教育局
政策	基本的人権を尊重する社会の確立	課（室）名	人権教育課
施策	人権尊重意識の普及・高揚	電話番号	087-839-2640
基本事業	人権教育の推進	事業実施主体	市
事務事業	社会人権教育推進事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民に対し、人権教育市民講座の開催、人権教育研修会の開催、人権教育指導資料の作成と視聴覚教材の購入、人権尊重都市たかまつ市民会議への助成等を行うことにより、人権教育・啓発の推進を図る。
2年度概要	市民に対し、人権教育市民講座の開催、人権教育研修会の開催、人権教育指導資料の作成と視聴覚教材の購入、人権尊重都市たかまつ市民会議への助成等を行うことにより、人権教育・啓発の推進を図る。

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民の人権教育・啓発の推進

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 人権教育市民講座実施回数	回	37	34	32	52	52
②						

【事業の成果】

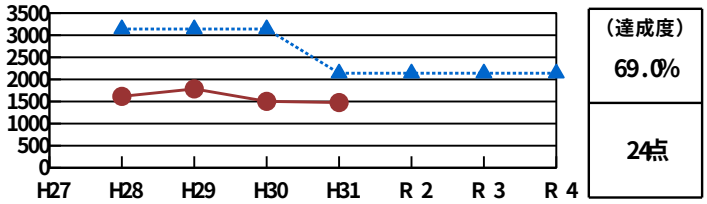
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
人権教育市民講座受講者数	人	目標値	3,140	3,140	2,140	2,140	2,140
		実績値	1,785	1,503	1,476		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

成果指標の達成度は６９．０％と、目標を下回る結果となった。

（目標達成度）

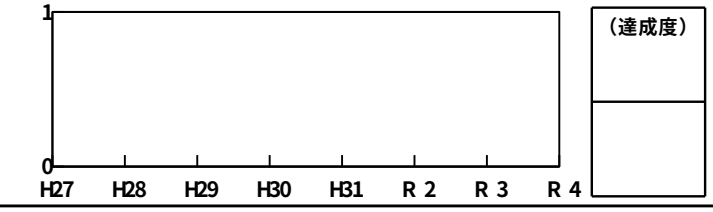


成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	19,313	18,505	18,243	17,870
（事業費）	[千円]	9,829	9,052	8,758	8,385
（職員人件費）	[千円]	9,484	9,453	9,485	9,485

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

一昨年度に比較的受講者数が多かった団体で、昨年度に講座開催を行わなかったところがあったことが影響し、人権教育市民講座受講者数が減少している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

人権教育市民講座が各団体において毎年開催されるよう、引き続きホームページや他の情報媒体等を利用して、人権教育市民講座に関する情報提供を行っていく。